

住永町政 2期目のスタート



役場玄関前で出迎えを受ける住永町長

就任式で職員に訓示

4月18日に行われた益城町長選挙で再選を果たした住永幸三郎町長が、5月6日、2期目の町政運営に乗り出しました。

この日は、朝早くから駆けつけた町民や職員が、住永町長を花束と拍手で出迎えました。

この後、大会議室で行われた就任式で、住永町長は「益城町を『日本一住みやすい町』にするために、引き続きこの4年間、全力で町政運営にあたっていきます。町民の方々と力を合わせ、知恵を出し合って、今何ができるのかを考えがらばってほしい」と職員に訓示しました。



安心して暮らせる「日本一の町」に

益城町長 住永 幸三郎

このたび、5月5日から引き続き2期目の町政の重責を担うことになりました。

益城町の発展のため、町民の皆様のご理解とご協力ならびにご支援を賜りながらその責務を全うしていきたくと心新たにいたしております。

さて、ご承知のとおり、昨今の地方自治を取り巻く状況は、少子高齢化の進展に加え、景気の低迷等による地方財政の悪化など、さらに厳しさを増し、楽観できるものではありません。

そのような、厳しい状況ではありますが、平成18年に町長に就任して以来、町民の皆様のご協力を賜りながら、住環境の整備を始めとして、子育て支援の充実、さらには教育文化の振興等十分ではありませんが各種事業の推進に努めてまいりました。

今後も、皆様方の福祉の向上を最重要課題とし、より一層の行財政改革の推進を図りつつ、子育てしやすく、町民の皆様が安心して暮らせる「日本一の町」そして、企業誘致による安定した財源および雇用の確保等、職員共々一丸となり、皆様方と力を合わせながら、「今が今、一生懸命」さらなる益城町発展のため、各種事業の推進にあたってまいります。

どうか、今後とも益城町発展のためより一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、就任のご挨拶いたします。